

III その他の独自事業

1 広報・オンラインコンテンツチーム

(1) 広報班・オンラインコンテンツ開発会議

広報班ミーティング（期日・参加人数・主な協議内容）

2023年

- 4/15(土) 6名参加 ・2023年度の活動方針
- 5/20(土) 8名参加 ・会員管理の方法と増員に向けて
- 6/17(土) 6名参加 ・オンラインコンテンツの検討、掲載依頼フォーマット
- 7/15(土) 8名参加 ・豊田市意思決定支援基礎講座について
- 8/26(土) 6名参加 ・Ready For 継続寄付立ち上げ検討
- 9/2(土) 5名参加 (Ready Forチーム) ・タスクの確認
- 9/9(土) 5名参加 (Ready Forチーム) ・ストーリー、コースの検討
- 9/23(土) 8名参加 ・2024年度予算、豊田市フォロワー導入研修について
- 10/15(日) 8名参加 (広報戦略会議) ・戦略目的、ブランディングについて
- 10/21(土) 8名参加 ・Ready For 継続寄付立ち上げ準備、2024年度予算検討
- 11/18(土) 7名参加 (広報戦略会議) ・各チームと広報チームの連携
- 11/19(日) 9名参加 (広報戦略会議) ・戦略意識の共有と意見交換
- 11/25(土) 7名参加 ・ホームページ、Ready For報告、イラストについて
- 12/23(土) 6名参加 ・実践シンポジウム特設ページ、フォロワー導入研修の動画

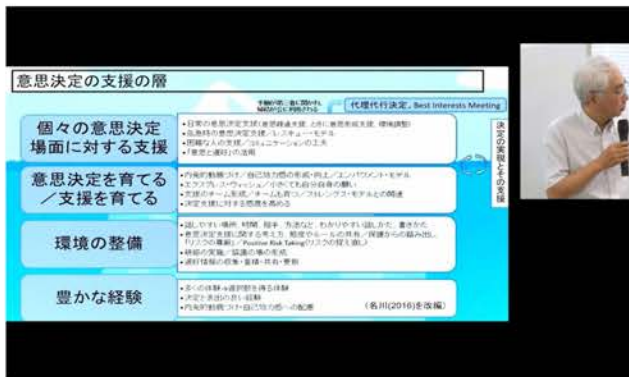
2024年

- 1/20(土) 7名参加 ・豊田市での集中審議、SNSの活用について

(2) 意思決定支援現場取材・コンテンツ編集

本団体が開催した研修事業等について広報活動と意思決定支援への理解を広める目的で、研修内容の動画記録、映像編集を行った。

今後展開の可能性のある、ビデオ視聴型研修を念頭に「意思決定支援基礎講座」（8/31・豊田市）の内容の動画収録を行った。



支援者向け意思決定支援研修(8/31・豊田市)

「フォロワー導入講座」(10/31・豊田市) 現地での撮影取材報告記事に研修の雰囲気伝える映像を加えた。



2024年2月10、11日に豊田市での意思決定支援フォロワーの取り組みの現場に同行取材、インタビュー取材を行い、動画にまとめた。動画はシンポジウムの資料として公開。



「フォロワー実践講座」(2/13・豊田市) 現地での撮影取材



「第2回 意思決定支援実践シンポジウム」 (2/23・東京都港区)
シンポジウムのLIVE動画配信と撮影取材。後にシンポジウムの内容を伝える映像制作。

(3) コンテンツアップロード

1) ホームページ更新作業

各事業チームからの依頼に応じて、ホームページ上に固定ページとして新しい記事を載せ、ニュースとしてアップデートの紹介をするなどの更新作業を行った。また会員等、アクセス可能者を限定したサイトの準備を完了した。今年度は、後述するクラウドファンディングREADYFORサイトでの活動報告の充実化を通じて幅広く関心を集めることに注力。今後のコンテンツの公開／限定の考え方についても検討を重ねた。

2) YouTubeチャンネル動画作製・アップロード

昨年度解説した公式Youtubeチャンネルに「自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業」に係る動画2本（昨年度シンポジウム開催の裏側と想いをまとめた動画、フォロワー導入講座の様子をまとめた動画）及び意思決定支援に関心をもっていただくための動画2本（「意思決定支援をどこから始めたらいいですか?」、「意思決定支援をシンプルに解説!! 決めることよりも大事なことがある!」）をアップロードした。

(4) クラウドファンディングREADYFORサイトでの活動報告

SDM-Japanの活動にご協力いただき賛助会員（サポーター）の皆さんからの会費の集金と特典付与、こちらからの情報発信を効率的に行うために、2023年11月からREADYFORの継続寄付システムの利用を開始。それに伴い、そのサイト内に掲載できる活動報告を広報コンテンツとして14本作成。（2024年2月時点）



2023年12月28日 19:05

【研修パートナーの皆さんといっしょにグループワーク！】豊田市意思決定フォロー導入講座

こんにちは。SDM-Japanの広報チームの今出です。研修風景や動画コンテンツの撮影&制作を担当しています。SDM-Japanの活動をより多くの方に知っていただけるように、もっとい...

[もっと見る>](#)



2024年01月31日 22:54

【はじめてのオンライン研修にチャレンジ！】意思決定支援スキルアップ研修スタート

こんにちは。SDM-Japanの理事兼トーキングマットと実践的意思決定支援ファシリテーション（PSF）のトレーナーをさせていただいております。大変な新年の幕開けとなつてし...

[もっと見る>](#)

2 PSF実践

（1）かながわ共同会における実践

かながわ共同会希望の丘はたのにてコンサルテーション・研修・PSF実践を行った。実施場所はいずれも、希望の丘はたの、実施内容は以下の通り。

ファシリテーター1名を養成し、リクルートミーティング（グループミーティング）8回、個別のミーティング4回を実施し養成したファシリテーターを通して延べ35名の施設利用者に対して、希望の表出のための働きかけを行った。

話し合い：

- 6月21日 今回の研修の趣旨説明と事業所からの希望
研修の目的と内容・事業所の現状説明と希望すること
- 8月23日 研修終了後の今後の実践研修の進め方
- 10月23日 中間報告と今後の実践研修の進め方
- 2月29日 23年度事業終了後のまとめと次年度の進め方

研修：

- 7月18日、7月24日、7月25日、7月27日、7月31日：3時間×5回
14:00～17:00、参加者1名
- 10月6日：3時間×1回 9:00～12:00 参加者2名

PSF実践：効果測定

- 9月7日 リクルートミーティング1
- 9月22日 リクルートミーティング2・効果測定1
- 11月2日 リクルートミーティング3
- 11月16日 リクルートミーティング4
- 12月26日 リクルートミーティング5・個別ミーティング1・効果測定2
- 1月30日 リクルートミーティング6・個別ミーティング2
- 2月13日 リクルートミーティング7・個別ミーティング3
- 2月29日 リクルートミーティング8・個別ミーティング4・効果測定3

(2) 竹の里人実践

竹の里人によるPSF実践においてコンサルテーションを行った。各回の実践については以下の通りとなる。

2023年4月29日（9：00～12：00）（藤沢市役所分庁舎 活動室3・4）

- ・準備、事前ミーティング
- ・意思決定者とのセッション・ゲスト（zoom）参加
- ・合意書作成について
- ・振り返り

2023年6月10日（11：00～13：00）（藤沢市労働会館公民館 303会議室）

- ・準備、事前ミーティング
- ・意思決定者とのセッション
- ・合意書作成について
- ・振り返り

2023年7月1日（9：00～12：00）（藤沢市役所分庁舎 活動室3・4）

- ・準備、事前ミーティング
- ・意思決定者とのセッション・合意書作成について
- ・振り返り

2023年8月13日（9：00～12：00）（藤沢市役所分庁舎 活動室3・4）

- ・準備、事前ミーティング
- ・合意書作成と同意
- ・振り返り

3 トーキングマット（TM）事業

(1) TM基礎研修

今年度のトーキングマット基礎研修は、2024年度 トーキングマット基礎研修開催状況の表に示す通り、5回開催した。1日研修は7時間、2日研修は3時間半を2回、オンライン研修の場合は2時間、または2時間30分を3回、いずれも計7時間の研修を行っている。基礎研修は表に示す5回で、合計29名の基礎研修修了者を輩出した。

2024年度トーキングマット基礎研修開催状況

日程	場所	担当
7月17日	北海道	本間
9月9日,16日, 10月7日	オンライン	本間 玉木
11月3日	大阪	玉木・延原
1月13日, 20日, 2月3日	オンライン	小杉・福崎・玉木
1月12日, 2月8日	神奈川県・横浜市教育委員会	名川・延原

1) 横浜市教育委員会に対するTM研修

神奈川県・横浜市教育委員会、並びに教育委員会に属する教員等6名が参加し、全員基礎研修修了した。通常の基礎研修の内容に加えて、教育活動の中で取り組める方法について、参加者で検討し、実践への接続を図った。

2) その他のTM研修

今年度は対面での開催は昨年度同様のプログラムを3回実施した。それに加えてトーキングマット社のオンラインでの基礎研修に基づき、フルオンラインでのトーキングマット基礎研修も開催した（うち1回は、自治体との連携による障害者・認知症高齢者等の意思決定支援モデル事業ウ.研修ワーキンググループ・トーキングマット基礎研修オンライン研修フルオンライン研修の項目にて詳細を記述した通りである）。

フルオンラインでの研修の参加ニーズは高いため、フルオンラインでの開催は来年度も継続予定である。ただし、フルオンライン研修では実際にカードを使用した演習が行いにくいというデメリットもある。対面研修、オンライン研修、それぞれの強みを活かして2024年度も研修を展開していく予定である。

(2) TMフレンズの会（フォローアップ）

トーキングマット基礎研修を修了した方々へのフォローアップ事業として行ってきたトーキングマット「実践のひろば」を、今年度より「トーキングマットフレンズの会」と形を変え開催した。フレンズの会になり、基礎研修修了者のみでなく、トーキングマットに興味を持っている方も参加可能となり、トーキングマットの活用や理解を深めてもらうことができた。

日程	時間	担当	内容	人数
9月23日	10:00～ 12:00	本間	トーキングマットの効果や疑問、動画視聴・フィードバック	10名

日程	時間	担当	内容	人数
11月4日	10:00～12:00	市川	リハビリテーション／介護予防領域での活用	4名
11月18日	13:30～15:00	玉木	杉の子会勉強会	9名
1月27日	19:30～21:30	玉木	広島勉強会 動画視聴・フィードバック	5名
3月9日	10:00～12:00	市川		

(3) TM事業戦略会議

トーキングマットの日本での展開方法について、トーキングマット認定トレーナー、基礎研修修了者及びSDM-Japanメンバーが協議を行った。本年度は定期・臨時を含め18回の会合が行われた（2023年4月1日・2日、4月29日、5月20日、6月3日・24日、7月8日・22日、8月26日、9月16日、10月21日、11月18日・21日、12月23日、2024年1月6日・20日、2月17日、3月16日）。

(4) TM新カード開発班検討会

今年度新カード開発班では、主にトーキングマットデジタル版への日本語対応ページの搭載と修正を進めた。更に、昨年度に取りまとめた日本文化カードセットの最終段階としてセットのトピックカードを作成した。

1) デジタル版搭載・修正の取り組み

主に英国のTM社の担当者のMark Dawsonとのオンラインミーティングで修正箇所を連絡し対応を求めた。開催日時とミーティングの参加者は以下の項目「(5) TM社との協議会」に記載した表のとおりである。修正箇所を正確に伝えるために、次の様式を用い、認定トレーナーから報告された不備の内容を英訳して共有した。

No. 1 Correction: The symbol and text do not match. The text should be 「いえのそと」 that means 'Leisure away'.
 [完了 done]

発見日	2023年6月5日	発見者	水島俊彦
不備事項	① 「いえのなか」トピックカードが「いえのそと」トピックカードのイラストになっている。 ② 家の外 → 「いえのそと」(ひらかな)にすべき		
不備箇所			

2) 日本文化カードセット開発

多くの日本のユーザーから様々な思いを語ってもらうためには日本の文化を反映した絵カードが必要であることを認識し、2021年度から日本文化カードセットの開発にむけて協議を続け、これまでに高齢者や障害のある人の生活や好きなことを振り返りながらブレインストーミングを重ね、「温泉」「墓参り」「お笑い」「カラオケ」などの日本文化のカードを作ることにし、絵の構図や絵カードの文字や表現の仕方を検討し、生活に根差した行事や楽しみ方を中心にこれまでの検討内容を取りまとめた。



今年度は、上記のTM事業戦略会議及びTMチームのSlackで7名の認定トレーナーを含むチームメンバーで日本文化セットのトピックカードの原案を協議し日本地図に決定した。また、日本財団の助成金でカードを開発したことを示すため、カード一覧に日本財団とSDM-Japanのロゴを掲載した。



▲島嶼国日本の全体像を示したトピックカード



▲カード一覧に掲載したロゴマーク

(5) TM社との協議会

本年度の英国スコットランドのトーキングマット社との協議は以下のとおり実施された。

日時	形態	参加者	内容
6月3日 19:00- 20:00	オンライン	Margo Mackay Mark Dawson Heather Cambridge 水島俊彦 小杉弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・日本文化セットのトピックカードの作成状況 ・日本語トーキングマットリソースのデジタル版整備 ・日本人ユーザーのアクセス他
8月8日 13:00-15:00	対面	Margo Mackay TM社 理事2名 名川勝 水島俊彦 小杉弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・TM社の経営戦略・資金調達・事業方針・ ・日本でのTMリソースの販売・普及の方向性
9月28日 18:00-19:00	オンライン	Mark Dawson 水島俊彦 小杉弘子	日本語トーキングマットリソースのデジタル版の整備・修正
10月5日 20:00-21:20	オンライン	Margo Mackay Mark Dawson Heather Cambridge 水島俊彦 小杉弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語トーキングマットリソースのデジタル版の整備・修正 ・日本文化カードの文字入れ ・健康とウェルビーイングセットの発注 ・メキシコの私立大学へのTM概説明の報告 ・SDM-JapanのTM普及のためのビジネスプラン

日時	形態	参加者	内容
12月28日 20:00-21:20	オンライン	Margo Mackay Mark Dawson Heather Cambridge 水島俊彦 小杉弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語トーキングマットリソースのデジタル版の整備・修正 ・トーキングマットセット内容についての確認 ・トーキングマットの普及啓発プロジェクト ・名川代表によるTM社向け講演の準備調整
1月22日 20:00-21:20	オンライン	Margo Mackay Mark Dawson Heather Cambridge Stuart Pirie (MTC) 水島俊彦 小杉弘子	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語トーキングマットリソースのデジタル版の整備・修正について開発会社MTCを交えた協議 ・トーキングマットの普及啓発プロジェクト、他
3月7日 20:00-21:20	オンライン	上記メンバー＋ 名川勝	日本語デジタルトーキングマットリソースの修正対応に関する協議、他
3月28日 19:30-21:20	オンライン	同上	日本語版デジタルトーキングマットの公開後の対応に関する協議、他

TM社からの依頼により、12月7日（20:30 - 22:00）に名川代表によるTM社の中心メンバー向けのオンライン講義が行われた。これは、エセックス大学EAPサマースクールでの名川代表の発表に感銘を受けたLois Camerom元TM社代表からの推薦を受けて実施され、講演では津久井やまゆり園での入所者殺傷事件の概要と、それに端を発した同園関係者へのコンサルテーションの取組状況が説明された。

（6）TM研究班・事例作成班会議

トーキングマット研究班では、本年度のテーマを事例集の編集と発刊として、概ね月1回程度の頻度で行った。

日時	形態	参加者	内容
2023年5月9日 16:30-18:00	オンライン	名川、水島、 市川、延原、 玉木、於保	<ul style="list-style-type: none"> ・小杉氏報告／TM社ページの事例 ・webページ上での事例の取り扱いについて ・市川氏報告／介護予防領域での活用
2023年6月6日 16:30-18:00	オンライン	名川、水島、 市川、延原、 本間、小杉、 於保	<ul style="list-style-type: none"> ・市川氏報告（続き）
2023年7月11日 6:30-18:00	オンライン	名川、水島、 市川、延原、 本間、玉木、 於保	<ul style="list-style-type: none"> ・於保氏報告 ・本間氏報告
2023年9月5日 16:30-18:00	オンライン	名川、小杉、 延原、玉木、 本間、於保、 藤田	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事例蓄積について ・太田ステージ評価とTMの関係
2023年10月10日 6:30-18:30	オンライン	名川、延原、 於保、玉木、 本間、藤田、 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・於保氏報告、本間氏報告の取り扱い ・ヤマト福祉財団助成の申請
2023年11月7日 8:30-19:00	オンライン	名川、市川、 於保	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト福祉財団助成の申請
2024年1月9日 16:30-18:00	オンライン	名川、延原、 於保、玉木、 本間、藤田、 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・山本氏報告

日時	形態	参加者	内容
2024年2月9日 16:30-18:00	オンライン	名川、延原、 於保、 玉木、 本間、 藤田、 市川	・ 今後の事例の収集について ・ 市川氏報告（短報）
2024年3月5日 16:30-18:00	オンライン	名川、於保、 藤田、市川	・ 市川氏報告②

具体的なトーキングマット実施の事例について検討しながら、事例集として記載するポイントや、掲載のフォーマットなどを整えている。また事例集発刊のために助成金申請を行った。採択された場合は、2024年度に編集し発刊する。いずれにしてもオンライン上での事例掲載を目指していく。

(7) TM合宿

2024年1月6日・7日、トーキングマットチームの合宿を行い、2024年度に向けた事業計画及びトーキングマットに関心を持つ人とのつながり構築の方法等について話し合いを行った。



4 リスクの捉え直し（Positive Risk Taking） 研修プログラムの開発と検証

スキルアップ研修にて実施した（P25参照）。

5 重度の障害のある人の意思決定支援にかかる 記録化検討事業

スキルアップ研修にて実施した（P26参照）。

6 その他

（1）神奈川県意思決定支援研修の実施（受託）

これまで神奈川県からの委託による実施であったが、今年度は特定非営利活動法人かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク（KCN）が受託し、KCNから講師依頼をいただくかたちで請け負った。

対象は神奈川県下の知的障害者の福祉サービスを実施している事業所の職員等であり、1回につき30名程度の受講であった。SDM-Japanではこれを各回1名で担当し、4名の講師を派遣した。具体的な日時、会場、担当講師は以下の通り。

令和5年度 神奈川県意思決定支援ガイドライン研修

日時：令和5年7月14日（金）会場：神奈川県労働文化センター（担当：名川）

日時：令和5年8月10日（木）会場：海老名市文化会館（担当：森地）

日時：令和5年9月12日（火）会場：おださがプラザ（担当：水島）

日時：令和5年10月17日（火）会場：中小企業共済会館（担当：本間）

プログラムはいずれの日程も同様であった。例を以下に示す。

時刻	時間	テーマ	講師（敬称略）
9:30-9:45	15分	オリエンテーション等	
9:45-10:45	60分	【講義】 神奈川県の意味決定支援の取組について	社会福祉法人唐池学園 富岡氏
10:45-10:55	10分	（休憩）	
10:55-11:45	50分	【講義・演習】 意思決定支援における好事例紹介、 課題事例検討	社会福祉法人かながわ共同会 小林氏
11:45-12:45	60分	（休憩（昼食））	
12:45-14:05	80分	【講義】 意思決定支援とは	一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク
14:05-14:15	10分	（休憩）	
14:15-14:35	20分	【講義】 意思決定支援ガイドラインの構造①	一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク
14:35-16:30	115分 ※休憩含む	【講義・演習】 意思決定に向けた支援プロセス①	
16:30-16:50	20分	【講義】 意思決定に向けた支援プロセス②	
16:50-17:00	10分	アンケート・閉会	

（２） かながわ共同会における意思決定支援コンサルテーション

2022年度は芹が谷やまゆり園でのみ実施したところを、2023年度はかながわ共同会の法人全体を対象とした契約を締結して意思決定支援に関するコンサルテーション並びに研修を行った。

年度前半はかながわ共同会との協議を経て、共同会側での準備期間とされた。SDM-Japanの関わりはもっぱら年度後半から行われた。また各事業所で一斉に取り組むのではなく、2023年度は、「希望の丘はだの」におけるPSF実践、並びに「津久井やまゆり園」における選好の記録化と共有に基づく実践を行った。愛名やまゆり園、厚木精華園については、2024年度からの実施が予定されている。

1) 秦野（希望の丘はだの）

「かながわ共同会における実践」として別途記載（P49参照）。

2) 津久井

津久井やまゆり園においても、園には3ユニットあるが、それぞれのユニットを対象に、選好の記録化と共有に関するコンサルテーション等を行った。各ユニットからモデルケース1名について、記録やかかわりにおける意思形成やその表出、その対応にかかわる点を対話により検討を深めた。

今年度は、11月9日(木)、12月6日(水)、1月19日(金)、22日(月)、2月15日(木)、21日(水)、3月11日(月)、15日(金)の8回実施した。

(3) 各種研修会講師派遣

様々な分野からの依頼に応じ、講演・研修会への講師派遣を行った。意思決定支援の基本的な内容から、専門的なスキル等の研修についても、SDM-Japanの各チームで対応した。依頼分野は、高齢・障害・成年後見が多く、全国各地からの依頼により、対面・オンライン研修を実施した。

講演・研修日程	時間	講演・研修タイトルと内容	依頼組織
2023年7月24日	2時間	令和5年度成年後見制度事業担当者研修 講義・演習「意思決定支援の基本」	北海道社会福祉協議会
<動画利用>		法人Youtubeを使っでの研修の可否	社会福祉法人ウィングキラリ
9月2日	1.5時間	東大市民後見人フォローアップ研修 「本人の希望を軸とした支援から学ぶ」	東京大学地域後見推進プロジェクト
9月8日	2.5時間	令和5年度日常生活自立支援事業研修会 トーキングマット紹介	岩手県社会福祉協議会

講演・研修日程	時間	講演・研修タイトルと内容	依頼組織
9月29日	2時間	意思決定支援研修 〔対象〕 専門職（包括、ケアマネ、相談支援専門員、市民後見人）	富士宮市社会福祉協議会
10月18日	2時間	流山市内障害福祉サービス事業所意見交換会 〔対象〕 部会に所属する障害福祉サービス事業所職員	千葉県流山市地域自立支援協議会就労支援部会
10月24日	3時間	地域包括支援センター職員学習会 実践編 意思決定支援	渋谷区役所高齢者福祉課高齢者相談支援係
11月6日	3.5時間	「意思決定を支援するための会話」「障害のある方の意思を引き出すために役立つ会話」	富山県社会福祉協議会福祉カレッジ
11月	3時間以上	意思決定支援について相談援助職としての基本的な考え方や視点を学び再確認する	千葉県館山市地域包括支援センター ことぶき
11月11日	3時間	意思決定支援に関する基本リスクのとらえなおし研修 〔対象〕 法人職員	社会福祉法人ウイング
11月24日	4時間	障害者支援の為の意思決定支援とその実践～当事者の選好の記録化と共有～	豊島区心身障害者福祉センター
11月24日 12月4日	2時間 ×2回	1回目：意思決定支援概論 2回目：模擬事例を用いた演習	社会福祉法人宮古市社会福祉協議会

講演・研修日程	時間	講演・研修タイトルと内容	依頼組織
12月16日	2~3時間	意思決定支援研修 〔対象〕協議会に所属する障害福祉サービス事業所職員	仙台市知的障害者関係団体連絡協議会 (社会福祉法人仙台市手をつなぐ育成会事務局)
2024年1月18日	2.5時間	鳥取県権利擁護セミナー 意思決定支援ツール「トーキングマット」	鳥取県社会福祉協議会
1月30日		新座地域ケアのつどい 自己決定支援のあり方およびプロセス・代理代行決定への留意点について	十文字学園女子大学 人間生活学部
2月17日	3時間	コミュニケーションのあり方を考える 〔対象〕法人職員	NPO法人はんどいん はんど東総
2月	2時間	障害者の権利擁護に関する普及啓発 意思決定支援	入間市障害者支援課
3月4日	4.5時間	意思決定支援ガイドラインのポイントと実施のためのノウハウ 意思決定支援ツール「トーキングマット」の効果的な使い方 〔対象〕成年被後見人等の権利擁護及び法人後見支援員（市民後見人）	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会
3月8日 (Zoom)	2時間	専門職対象成年後見制度勉強会 「意思決定支援を考えてみよう」	千歳市成年後見支援センター
3月16日 (Zoom)	3時間	「認知症高齢者の方の意思決定支援」「意思決定支援ガイドライン研修」 〔対象〕主任介護支援専門員	城東区城陽地域包括支援センター



thank you



SDM-Japan

日本意思決定支援ネットワーク



phone call

050-5534-4004



Website

<https://sdm-japan.net/>



Email Address

info@sdm-japan.net



Office Address

〒305-8572

茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 人間系障害科学域
名川勝研究室 気付

日本意思決定支援ネットワーク 2023年度事業報告書

発行者/名川勝

発行期日/2024年3月31日

監修/名川勝・水島俊彦

文・写真/日本意思決定支援ネットワークメンバー

構成・校正/鈴木節子

レイアウト・デザイン/就労継続支援B型作業所「虹の道・工房たね」